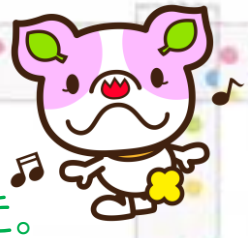

緑のサポーター交流広場「みどりのカフェ」レポート

１月３０日（水）**みどりのレッスン**を開催しました。

今回は「添景物を上手に使ってベランダのガーデニングを楽しもう」をテーマにガーデンデザイナーの徳原真人先生に講義していただきました。

※添景物とは、草花に置物等を添えることをいいます。

前半はベランダでみどりを楽しむポイントについて話していただきました。

- **安全ルールを守る**
  避難壁前をふさがない、コンテナの落下や、落水防止などに気をつけましょう。
- **風対策、風に強い植物を植える。**
  ビル風は一定方向から強風がふくので花弁の大きいものなどは向きません。マーガレットなどキク科の植物は風に強いそうです。

【風に強い植物】
ローズマリー、ツルマサキ、テラクリウム、アイビー、オステオスペルマム、イソギク、ハマギク、多肉植物など

- **植物の高さを工夫する**
  部屋からの目線の高さを意識して植物を置くとよいそうです。
- **半日陰地に向く植物を植える**
  草花を咲かせるためには、一般的に３～４時間位の日照が必要です。

【半日陰に向く植物】
クリスマスローズ、ヒューケラ、ハツユキカズラ、ダイモンジソウなど

- **用具や鉢などの収納スペースを確保**
  レイズドベット型コンテナ(脚付きのコンテナ)を活用、床下を収納として上に鉢を置くと日が当たりやすいそうです。

添景物として2月のバレンタインを意識して、紙粘土などでハートの形のピックを作って添えてもいいですね♪とお話がありました。

後半は、講義でもお話のあったベランダに向く植物を５苗使って寄せ植えの実習をしました。苗を中心に寄せるよう配置し、花を傷めないよう、周りから少しづつ土を足しながら入れると、きれいな寄せ植えができるそうです。

春にむかって、日照時間もだんだんと長くなってきました。
日当たりがいい場所に置いて、水は３日に一回位あげてください。